
ワタシノ首

黒蘭

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ワタシノ首

【Nコード】

N0034I

【作者名】

黒蘭

【あらすじ】

私は佐々野佑香。毎日楽しい学校生活を送っていた。しかし、親友を亡くし心に深い傷を負う事になる。そこで謎の人物が・・・！
？

第一話 突然の別れ・突然の驚き

ザッ ザッ ザッ ザッ・・・

「ワタシノ・・・首・・・ドコ？ドコナノ・・・？」

「ねえママ。お話して！」

「えゝ。しょうがないね、いいよ。それじゃあ・・・怖い話！」

「やったやった！早く早くゝ。」

「えゝと、コホン。これはね、ママが子供の頃のお話・・・。」

「おっはよおくん。」

「お、おはよつ。」

ささのゆうか

アタシは佐々野佑香。中学2年生の元気な女の子！薄い茶色の髪は長くて高い位置で二つに結んでる。そして黒い瞳。

挨拶を返してくれた子は丹野美紅。たんのみくアタシの一番の友達で頭が良くて美人なんだ。真黒でツヤのある髪をポニーテールにしてる。色白で瞳は茶色。

アタシの憧れでもあるんだよ！

「今日テストあるよ、やだなあ。」チラッ

「ハイハイ、ノート見せてでしょ。わかってるよ、そんな事！」

「神様ありがとおおお。」

「んなの当然よ！私は神だから！！」

「こんな神様いないんじゃない？」

「どついう意味よ、それ。」

「ん？どついう意味なんだろうねえ？」

「こら、佑香！！」

「キヤハハハハハ！」

こんなに楽しい毎日・・・続くといいな！

「でも、現実って本当に辛いものね。長くは続かなかったわ。」

「美紅！！！！なんで！？なんでよお！！！！どうして・・・
・・ずっと！ずっと一緒にいようって言ったじゃない！！！！約束
破るなんて・・・ひどいよお・・・アタシ、一人じゃない！
ねえ！・・・うわああああああああああああああああ
！！！！！」

美紅が死んだ。

首を刳られて死んだ。

あつという間、もちろん即死。

犯人は見当もついていない。

突然の事だった。

アタシにも、なんでこんな事が起こったか分からない。

現実を受け止められない。

どうして……ねえ、どうしてなの？美紅……

美紅が死んで2週間がたった。アタシの心にえぐられた深い傷はまだ癒されない。

「ねえ……佑香！今日ゲーセン行かない？久しぶりにパーツとさ！」

皆はアタシと美紅の仲が一番いいのは知ってる。だから気遣ってくれてるのだ。

「……ごめんね、今日はそんな気分じゃないの……また、誘ってくれる？」

「そつか……うん、今度行こう。」

「ごめんね、ありがとう……。」

「……うん。」

ごめんね、皆……。

授業が終わり、一人で帰ることにした。

ここ最近は一人で帰っている。隣に美紅がいれば一人じゃなかったのね……。

コツ コツ コツ コツ コツ……

「美紅……。」

ポロ ポロポロ……

「美紅、なんでえ……っ、ひっ……。」

自然と大粒の涙が落ちてきた。

そのときだ。

「丹野美紅に会いたいのか？」

どすのきいたこの世にあるとは思えない低い声が耳元で聞こえた。
驚きのあまり、声がでない。

「!!!!!!??」

「丹野美紅に会いたいのか？」

なんで、美紅のことを・・・？

と、言いたいけど怖くて声が出ない。

「い・・・あ・・・。。。。。。。」

どうすれば、いいの・・・!?

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0034i/>

ワタシノ首

2010年10月10日01時31分発行